

令和6年甲辰

# 新春刀剣展

令和6年1月1日(月)▶1月28日(日)

8:30 ~ 17:00 (最終受付は16:45)

一般 300 円 (20 名様以上団体 250 円)

高校生以下無料



鹽竈神社博物館

〒985-8510 宮城県塩竈市一森山1番1号  
TEL 022-367-1611 (代)、FAX 022-365-5530  
<http://www.shiogamajinja.jp/>

[ 交通案内 ] JR仙石線本塩釜駅から、表参道石鳥居まで徒歩 15 分、東参道石鳥居まで徒歩 7 分、社務所前まで徒歩約 15 分、タクシーで 5 分。JR東北本線塩釜駅から、表参道入口までタクシーで 5 分、社務所前まで同 7 分。三陸自動車道・利府中 IC より車で 10 分。  
 ※お正月元旦は、交通規制がありますので御注意ください。

令和 6 年甲辰  
**新春刀剣展**  
 —ごあんない—



令和六年は甲辰の年。空をかける龍のように勢いのある一年になることを願います。



さて、当博物館では、一月一日より「新春刀剣展」を開催いたします。



美術工芸品として高く評価されている日本刀。本展では、その見所や豆知識をご紹介します。

太刀(たち)と刀(かたな)の違いなんて知らなかったよ...



作品には多くの見所があるのですが、まずご覧いただきたいのは全体の姿。

絶妙の曲線美...



美しいだけでなく、各時代の特徴がみられます。

鎌倉時代の太刀と江戸時代末の刀では、こんなに姿が違うのか...

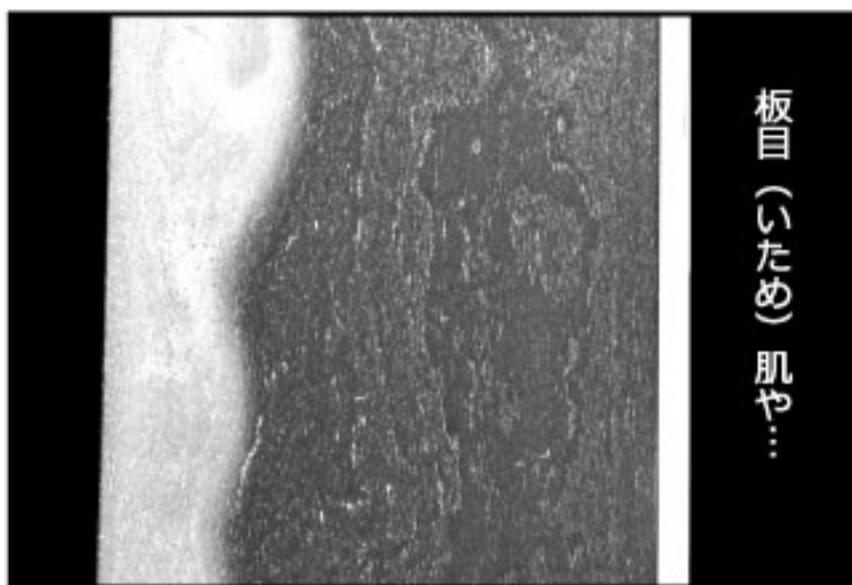


もう一つの大きな見所は、鍛えられた鋼が生み出す独特の肌合い。

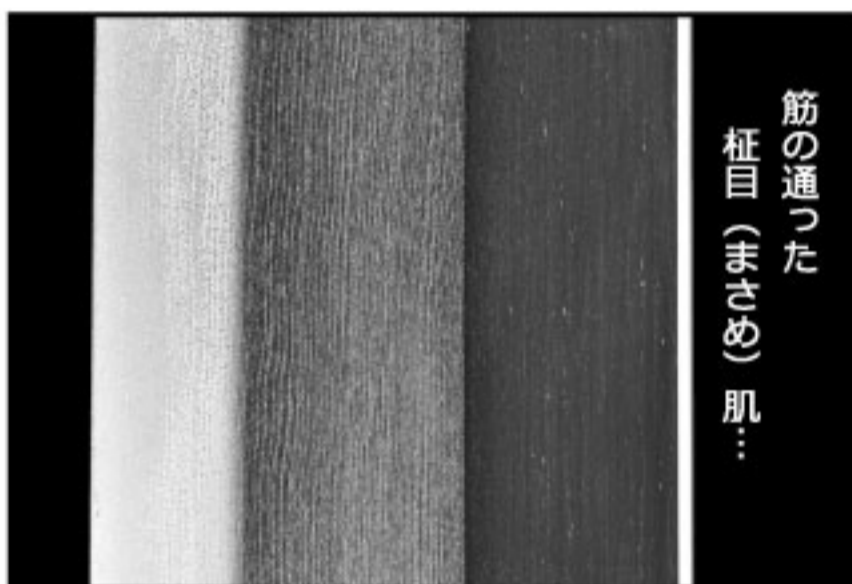
作品の地の部分には、細かな模様が見られるんだ。



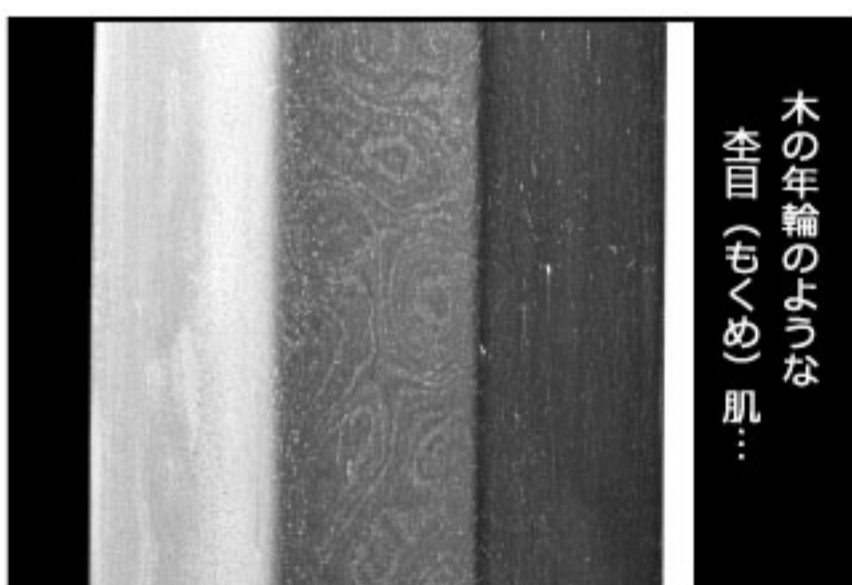
日本刀独特の「折返し鍛錬」の工程により鋼が層をなすため...



板目(いため)肌や...



筋の通った柾目(まさめ)肌...



木の年輪のような本目(もくめ)肌...



「など、鍛え肌」と呼ばれる肌目があらわれるほか、様々な「景色」がみられます。

このほか、特殊な鍛え肌もあるんだ。



さらに、大きな見所となるのが「刃文(はもん)」と呼ばれる刃の模様。

刃に模様があるなんて不思議だなあ...



「刃文」は、刃部を硬く強靱にするための「焼き入れ」を行うことによつて生じます。

加熱・急冷により粒状の組織が生まれ、研磨すると光り輝くのです。



肉眼で見える程の大きさの粒を「沸(にえ)」と呼びます。

「純」とも書きます。



目に見えない程の小さな粒を「匂(におい)」と呼びます。

「匂」が集まると、



「輝く」「沸」とふんわりとかすむ「匂」で構成される刃文。夜空の天の川にもたとえられます。

刃文の形にも様々なものがあるんだ。



高度な技術で刀身を研ぎあげて細やかに鑑賞することとは、我が国独自の文化です。

鑑賞すること自体が文化か...



開催期間は令和六年の一月二十八日(日)まで。会期中、休館日はありません。

初詣にあわせ、ぜひ来館頂きますよう御案内申し上げます。